

春の姫路へバスツアー

姫路城散策と綿菓子牛鍋、かまぼこ造り



淡路支部は4月2日(日)にバスツアーを開催、4医療機関から医師など37名が参加した。今回は快晴の中を姫路城で散策(上写真)、かまぼこ造り体験などを楽しんだ。

淡路支部ニュース

2017. 4. 25
No. 333

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-1313 洲本市五色町
結原西9-2 たかたクリニック内
☎0799-3012272



世界に一つだけの自分のかまぼこ・ちくわ造りに挑戦。専用の包丁を使ってかまぼこ板にきれいに塗り付けるのに一苦労。



⇒ お昼は人気の酒蔵レストランで「綿菓子牛鍋」を味わった。大きな綿菓子が登場すると各テーブルに笑顔が広がった。

ストップ患者負担増署名

まず医療者が学び、問題知らせよう

淡路市・大橋医院 大橋明先生



協会は政府の医療介護の患者負担増計画に対し「今こそストップ！患者負担増」請願署名に取り組み、淡路支部では1200筆を目標に協力をお願いしている。支部幹事の大橋明先生（左写真）の取り組みを紹介する。

当院は先代である父親の時代から協会の署名運動に積極的に取り組んできました。そのためスタンプも非常に協力的で、どんどん署名を集めてくれます。

当院は院内処方ですので、薬を用意する時間を利用して、患者さんと直接対話しながら署名の内容を紹介し、多くの方に協力いただいています。協会から最初に送られてきた10枚の署名用紙もすぐにいっぱいになりました。

した。

淡路島は車社会で、どうしても運動不足になりやすく、糖尿病など生活習慣病の患者さんも多くみられます。今でも重い患者さんの負担がこれ以上増えれば、受診が抑制され、病気の予防・早期発見の遅れによる重症化がかえって多くの医療費がかかる恐れがあると危惧しています。

今進められている医療・介護の制度改悪について、多くの患者さんは知りません。自分に関係することだと思っている方はさらに少ないように思います。署名やパンフレットを使いながら対話すると、自分に関わることだと分かってもらえます。

まず、私たち医療従事者

が政府の進める患者負担増計画について知り、署名運動を通じて患者さん・国民に知らせていくことが大切だと思います。

私も幹事を務める淡路支部は、前回の「さらなる負担増計画の中止を求め」請願署名で、支部目標を大きく超える、多くの署名を集めました。私も微力ですが協力したいと思えますので、できるだけ多くの会員の皆さまにご協力いただけたらと思います。

協会には新聞等を通じ、今後も政府の患者負担増計画について、問題点等分かりやすく知らせてほしいと思います。（署名の追加注文は☎078-393-1807まで）

兵庫県保険医協会淡路支部役員選挙の公示

兵庫県保険医協会淡路支部
支部長 高田 裕

協会規約第75条および(細則)協会役員等選出規定の第3条の3により、淡路支部役員選挙の公示を行います。

【役職と定数】

支部長 1名
副支部長 若干名
幹事 若干名

【任期】

2年

【改選日時】

5月27日(土)午後3時/会場：洲本市文化体育館2階2C会議室
淡路支部第39回総会

【立候補日時締切】

5月20日(土)正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。
「立候補届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。

兵庫県保険医協会 評議員・予備評議員(医科)選挙の公示

兵庫県保険医協会
理事長 西山 裕康

協会規約第31条の2及び(細則)協会役員等選出規定の第3条の2により、評議員・予備評議員(医科)選挙の公示を行います。

【役職と定数】

評議員 2名
予備評議員 1名

【任期】

2年

【改選日】

5月27日(土) 淡路支部第39回総会(会場・洲本市文化体育館2階2C会議室)

【立候補日時締切】

5月20日(土) 正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。
「立候補届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。
なお、歯科について歯科部会で選出します。

兵庫県保険医協会

第39回淡路支部総会

日時 5月27日(土) 15時～総会議事

会場 洲本市文化体育館2階 2C会議室

15:30～ 記念市民公開講演(参加無料)

テーマ「医療が変わる最新IT:
仮想現実VR・拡張現実AR・複合現実MR」

講師 杉本 真樹 先生

(国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 医療福祉国際協力学分野 准教授)

TV やインターネットは人に、時間と空間を越えた膨大な情報を与えますが、そのほとんどが視覚と聴覚に限定されています。しかし人には五感をはじめ様々な感覚があり、近年のVR仮想現実・AR拡張現実・MR複合現実などの概念によって体感そのものが、第三者と共有できるようになりました。これらの技術はゲームやエンターテインメントに留まらず、医療健康分野でも大いに注目されています。そのビジネストレンドを実例を交え解説します。Oculus Rift やHTC VIVE, SONY PlayStation VRなどのHMD情報端末機器をはじめ、360° 動画撮影可能な全天球カメラによる全周囲実写コンテンツ、スマホ型ARとして位置計測センサー搭載のLenovo Phab2 Proやホログラフィーのような体験ができるMRゴーグルのMicrosoft HoloLensなど、実際に医療現場や手術で活用されている実例など、わかりやすくご紹介します。 【杉本記】

お問い合わせは、TEL 078-393-1803 協会事務局 山下 まで

兵庫県保険医協会淡路支部第39回総会(5/27) 出欠確認

FAX返信 078-393-1820 山下 宛

- ①総会議事 (ご出席・都合がつけば)
- ②講演 (ご出席・都合がつけば)
- ③懇親会 ※会員参加無料 (ご出席・都合がつけば)

地区 _____ 市 医療機関名 _____

お名前 _____ TEL _____